

💡ミニセミナー報告💡

算数・数学の力を伸ばすヒント集

先日開催いたしましたミニセミナーには、多数のご参加をいただきありがとうございました。本資料では、当日ご質問いただいた具体的なお悩みと、算数・数学の学力向上につながる具体的なアドバイスをまとめております。

1. 算数・数学の「センス」を育むには？

【お悩み例】 中学生女子の保護者様より：「数学的センスがある子」と差がつく理由や、これからそのセンスに近づくための勉強法を知りたい。

質問の要点	アドバイスと具体的な方法
センス・才能の有無	算数が得意な子（算数オリンピック出場経験者など）には、幼少期から数字に執着し、自ら数字遊びを始めるなどの特徴が見られます。
幼少期の経験	センスがないと感じるお子様は、「砂遊びや水遊び」など、形が変わる素材（可塑性のある素材）を使った遊びの経験が不足している場合があります。 「外遊び」の経験も非常に重要です。高層階に住むお子様で外遊びが不足していると、算数理解が難しくなるケースが報告されています。 「折り紙、積み木、ブロック遊び」は、平面図形・立体図形の感覚を養う基礎訓練になります。
日常生活との結びつき	教科書上の学問になる前に、 日常生活での経験値を積む ことが最も大切です。 （例） 買い物での「割引計算」、晩ご飯の予算を与えて材料を買わせるなど。
計算力の強化	「5や10をまとめとして捉えられない」お子様はつまずきやすいです。頭の中が10進法になっていない可能性があるため、 そろばん が五と十の塊で進むため強制力があり有効です。 中学生になってからそろばんを始めるのは時間が必要ですが、 ゲーム感覚の計算アプリ を活用し、反応速度を上げるトレーニングが有効です。

2. 文章問題・応用問題が解けない場合の対策は？

【お悩み例】 小学生男子の保護者様より：基礎問題は解けるが、応用問題やテストで取れない。受験直前の今、どうしたらよいか知りたい。

質問の要点	アドバイスと具体的な方法
受験直前の対策	<p>根本的な問題解決に時間をかけるよりも、得意な分野や教科に時間をかける「トータルの合計点を上げる作戦」に移行するのも一つの手です。</p> <p>難問への深入りよりも、基礎的なパターン習得を優先しましょう。入試までにどれだけ多くのパターンを見て自分のものにできるかが力ギです。</p>
文章問題の解法	「数学は暗記（パターン暗記）である」という考え方もあります。公式集や暗記カード（例：出る順暗記カード）を活用し、問題を見た瞬間に公式が取り出せるように訓練することが大切です。
根本的な理解	<p>文章問題が解けないのは、「その問題が一体どういう状況なのか」を理解する力が弱い可能性があります。</p> <p>解答前に、「自分の言葉で問題の内容を説明してもらう」「図式化（図や線分図）してもらう」ことを試みましょう。図が書ければ半分以上解けたも同然です。</p> <p>これは国語や理科など、どの教科にも共通するイメージ力・想像力が影響しています。</p>

3. 計算スピードが遅い、字が汚い場合の対策は？

【お悩み例】 小学生女子の保護者様より：算数が苦手で計算スピードが遅く、手順に追わされて時間がかかる。苦手意識を減らしたい。

質問の要点	アドバイスと具体的な方法
計算スピード	<p>「1から20までの足し算・掛け算」をスラスラできることが、最低限の基礎です。</p> <p>計算アプリを活用し、ゲーム感覚で楽しみながら反応速度を上げることが有効です。</p> <p>親子や兄弟で計算競争をしたり、毎朝プリントで時間を測って記録せたりするなど、意識を高める工夫も効果的です。</p>
学年を遡る学習	中学生であっても、小学校1年生の繰り上がり・繰り下がりまで遡って計算練習を行うと、知能が成熟しているため短期間で克服できるケースがあります。
字の乱れ	<p>字が崩れると間違い（誤字）を起こしやすくなります。「縦の線を揃える」「マス目に収める」など、丁寧に書く習慣化が重要です。</p> <p>習慣化には約3週間かかると言われています。最初のうちは、親がチェックし、できていない場合はその場で書いてもらうなど、継続をサポートしましょう。</p> <p>勉強の前に「数字をなぞる」ウォーミングアップを取り入れることも有効です。</p>

中学進学までに最低限必要な算数力

中学の数学で習う内容は「理論的理屈」が多く、実際に問題を解く際に使っているのは「小学校の算数」です。

以下の3つができるないと、中学で苦労する可能性が高くなります。

1. 四則計算（1～20までの足し算・掛け算を含む）
2. 分数・割合（概念の理解と計算）
3. 図形の基礎（台形や平行四辺形などの特徴の理解）

特に、分数については、**概念を理解した上で、計算ができ、さらに分数を使った文章題を自分で作れる**ところまで仕上げておくと理想的です。